

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	情報科教育法 I						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	教職情報必修						
担当者	戒田 高康						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の基本的展開と指導が実践できる。</li> <li>・学習指導要領の教科「情報」を説明できる。</li> <li>・情報教育の変遷について概要を説明できる。</li> </ul>						
日程と内容	4/11 導入講義：授業の進め方と概要、成績評価法の説明 4/18 情報科教員と情報教育 4/25 情報教育の概要及び学校教育と教師の役割 5/02 学校の組織と運営管理、組織の機能、校務分掌、教員の服務、教師像 5/09 情報科教員の研修、望ましい教師像、教育活動 5/23 学校教育と教育行政 5/30 中学校における技術教育と高等学校教育の現状と課題 6/06 産業教育と情報教育の現状と課題 6/13 戦後教育史の概観 6/20 授業計画の作成と実践(1) 6/21 授業計画の作成と実践(2) 6/21 教科「情報」の現状 7/27 ミニ模擬講義(1) 7/04 ミニ模擬講義(2) 7/11 ミニ模擬講義(3)とまとめ						
成績評価基準	定期試験			実技			30%
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	25%		プレゼンテーション			20%
	課題	25%					
	演習			計			100%
授業到達目標の達成度	上述の「授業到達目標」に関しては、合格者については3項目すべてを理解させることが達成できたことを口頭試問およびミニ模擬授業で確認した。						
反省点	前半に講義(説明する時間を多目にとったため、ミニ模擬授業の準備が不足し、不十分な授業指導計画案に基づいてミニ授業を実践する学生が複数いたことが反省点である。						
来年度の計画	講義前半の解説の週より、授業指導計画に関する説明や作業の時間を少しずつ取るように工夫する計画である。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価(設問14)が8.4と全科目平均より高いので、今後もこの水準を維持するように、より一層取り組む予定である。						
履修登録者数	3名	定期試験 受験者数	3名	合格者数	3名	合格率	100%